

## パブリックコメント

### 湖南省建築物耐震改修促進計画（案）

「湖南省建築物耐震改修促進計画（案）」にかかるパブリックコメント手続きの結果、寄せられたご意見やご提案とそれに対する考え方をお知らせします。

原案に反映しないものも、今後の施策の参考にさせていただきます。  
ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1.意見募集期間 令和8年1月5日（月）から令和8年2月5日（木）

2.意見の件数1件（1名）

[内訳] （1）原案に反映しないもの・・・1件

番号	ご意見やご提案など	市の考え方
1	<p>避難が困難な高齢者や入院者や乳幼児などを年齢の若い順に、その施設の利用率や利用人数を基準に出し、施設の耐震性でより弱い震度でも全壊の恐れのあるものから、複合型移転を計画してほしい。代替施設がない中、利用率が低いから安易に廃止すると湖南市がどんどんスカスカの魅力のない街になる。昨今、山奥に施設があることがライフライン維持費効率の観点から問題となりつつある。上水道下水道など僻地に通すと、維持コストだけで手が回らなくなる。ライフライン維持問題と街の魅力の観点から、複合型施設や街中への誘致をできる限り推し進めたほうが後々市財政を圧迫しないのではないか。もちろん移転複合型は、街中となるため、乳幼児や高齢者や入院者以外にも利用できるものや魅力的なものでないと、市外からの移住や市外からの集客に繋がらないため、川に大きな石を置くように、人の流れを滞らせるので街の発展に足枷となる。もちろん全部が全部移転複合化できるとは思わないし、新庁舎のように無駄に複合型施設を中高層化すれば耐震コストや維持コストや被災改修コストが馬鹿にならない。そのため、公共施設の複合型だけでなく、民設やエンタメ施設を含め、魅力部分を表面だけの薄い張りぼての取っつけた感だけでなく、街である基本の人がたくさん集まる土地を将来</p>	<p>ご指摘の通り、避難が困難な高齢者や入院者、乳幼児といった方々の安全確保を最優先に考えるべきであるというご提案は、本市が今後のまちづくりを進める上で極めて重要な視点であると深く認識しております。本市では、市民の皆様生命と財産を災害から守るため、公共施設等の耐震化を喫緊の課題と捉え、建築物耐震改修促進計画を策定し、計画的な取り組みを推進しているところでございます。P3には避難弱者が利用する建築物等に対して耐震診断の義務化とその結果の公表について記載しており、P27には耐震化の優先順位について記載しております。地域全体の魅力向上に資する視点を持ち、耐震化の実施を推進して参ります。これらの取り組みを推進するには、多大な財源が必要となることもご指摘のとおりでございます。本市といたしましても、国や県の補助金制度を積極的に活用するとともに、財政健全化に向けた不断の努力を重ね、市内建築物の耐震化を着実に推進して参ります。</p>

<p>的にも形成するにはという視点も必要ではないか。耐震化は、できる限りこれらを補強するものを優先してほしい。</p>	
---	--